

講演規定

〈演者・座長の先生方へ〉

■ 座長へのご案内

1. 担当セッションの15分前までに、会場内右手最前列の次座長席へお越しください。
2. 各セッションの進行は、座長の方にお任せいたしますが、時間厳守での進行にご協力いただきますよう、お願いいたします。

■ 演者へのご案内

1. 発表形式はPCプレゼンテーションとなります。
2. 会場にはWindowsPCをご用意しております。
3. 対応するアプリケーションソフトはPowerPoint2019です。
4. 文字化けを防ぐため、Window標準のフォントにて作成してください。
5. スライドサイズはワイド画面(16:9)で作成してください。
6. 発表データのファイル名は「演題番号_氏名」としてください。
7. 発表データはUSBメモリでお持ちください。USBメモリに保存したデータを別のPCにコピーし、正常に再生されることを確認してください。
8. 発表者ツールは使用できませんのでご注意ください。また、スクリーンは1面投影です。
9. Macをご使用の方は必ず上記環境のWindows PCにて動作確認の上、データをお持ち込みください。
10. 発表するセッションの30分前までにPCセンタにて、発表データの提出、試写確認をお願いいたします。
11. ご自分のPCを持ち込む場合にも、必ずPCセンタにお立ち寄りください。

【PCセンタ】 昭和大学 上條記念館 1Fホワイエ

受付時間：5月11日(土) 10:00~17:00

5月12日(日) 8:30~11:50

※PCセンタで発表データの修正は行えません。修正等は事前にお済ませの上、ご提出ください。

12. 発表時間は厳守していただき、プログラムのスムーズな進行にご協力をお願いいたします。
13. 発表時間・総合討論の有無につきましては事前にお知らせいたします。
14. 発表セッションの開始時刻の15分前までに次演者席(会場ステージ向かって左側)にご着席ください。
15. 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

【メディア持込み・PC持込みについて】

1. ご提出いただくデータの損失を避けるため、事前にバックアップを取ってください。
2. 動画、音声を発表で使用される場合は、必ずPCセンタにてお申し出ください。
3. 動画を含む発表データをUSBメモリでお持ちいただく場合は、バックアップ用として念のためご自身のPCもご持参ください。
4. 動画に不具合が生じた場合、学会側は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. PCはPCセンタで確認後、発表会場内のPCオペレータ席にてご返却いたします。液晶プロジェクタとの接続はHDMIです。PC本体の外部出力端子の形状および出力の有無を確認してください。専用の変換アダプターが必要な場合はご持参ください。
6. スクリーンセーバーならびに省電力設定は、あらかじめ解除してください。
7. 電源ケーブルをご持参ください。バッテリー駆動の発表はトラブルとなる可能性があります。
8. 持込みされるPCに保存されているデータの損失を避けるため、事前にデータのバックアップを行ってください。
9. iPadなどのタブレットを使用してのご発表はできません。

1) 発表時における利益相反 (COI) の開示

1. すべての発表に関し、口演時の2枚目のスライドに利益相反公表基準の有無を必ず記載してください。
2. 演者全員が公表の対象に該当しない場合、「利益相反公表基準に該当なし」と記載してください。
3. 該当有りの場合、カテゴリーとクラスの表示は著者の判断に一任します。

2) 発表について

1. 筆頭演者は本学会会員である必要があります。ただし、外国籍の参加者、共同演者に関してはこの限りではありません。
2. 一般演題の発表時間は発表6分、質疑応答3分とします。特別講演、教育講演・シンポジウムは、指定された時間で講演・質疑をお願いいたします。
3. 発表は、ご自身で演台上のキーボード・マウスを操作して行ってください。PC本体は演台上にはありません。

3) 質問者の方へ

1. 通路に設置してあるマイクのところにお立ちください。他の質問者がいる場合は順番をお願いいたします。
2. セッションの進行状況により、質疑時間がキャンセルされる場合があることをご了承ください。

4) スライド作成における注意事項

1. スライドは参加者が容易に理解できるよう、眼科学の知識に基づいて作成してください。
2. スライド2枚目に利益相反事項を入れてください。
3. 字詰まりスライドは避けてください。字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読が困難です (Angular VisionとCortical Visionとの関係への配慮)。
4. スライドに掲載されている内容を把握するのに十分な提示時間を確保できるスライド枚数としてください。
5. 使用する色の数ならびに混合色へ配慮してください。
 - 一枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字のコントラストが十分にあるもの (ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など) にしてください。
 - 混合色として識別が難しい配色は、同一スライド内で使用しないようにしてください。
例：赤－緑、オレンジ－黄－緑、青－紫、ピンク－白－灰、赤－黒、ピンク－明るい青